

都市計画マスタープランの策定に向けて 『くまがやまちづくり 地区別ワークショップ』 を開催しました

ワークショップ開催報告 北部地域版

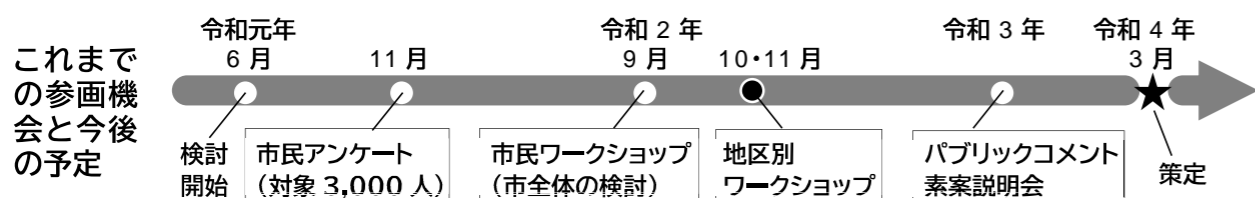
市では、都市計画やまちづくりを進めるための総合的な計画である『都市計画マスタープラン』の策定作業を進めています。将来のまちづくりに対する市民の皆さんの声を計画に反映するため、令和2年10月・11月に地区別ワークショップを開催し、延べ73名の方々に参加いただきました。この開催報告では、ワークショップの概要と市民のみなさまから頂いた意見の一部をご紹介します。

〈開催日時と参加者数〉

☆北部地域	： 令和2年10月31日(土)	妻沼中央公民館	参加者16名
西部地域	： 令和2年10月31日(土)	さくらめいと	参加者19名
中央地域	： 令和2年11月 3日(火)	商工会館(中央)	参加者13名
東部地域	： 令和2年11月 3日(火)	商工会館(東部)	参加者14名
南部地域	： 令和2年11月 7日(土)	江南公民館	参加者11名

都市計画 マスター プランとは？

概ね20年後を目指し、都市計画やまちづくりを進めるための基本的・総合的な考え方を定める計画で、土地利用、道路・交通、環境・緑・景観、住環境、防災などの分野が対象です。



① ワークショップの検討テーマ・手順

ワークショップは以下のテーマ・手順で検討を進めました。



② 北部地域で出された主な意見

将来の地域のまちづくりを検討していただき、以下のような意見が出されました。

地域の 魅力と 課題は？

●魅力

- ・自然が豊か(利根川など)、農業が盛ん
- ・聖天様と周辺の歴史資源(あじさい寺、荻野吟子、常光院)
- ・観光資源(グライダー場、道の駅、渡船場、聖天寿し)
- ・地域行事(あばれみこし、大杉祭)
- ・豊かな教育環境
- ・妻沼運動公園子ども広場は遊具が楽しい など

●課題

- ・市街化調整区域なので人口増が見込めない、来街者は通過するだけ
- ・商店街の衰退、シャッター街、空き家、空き地
- ・ゆうゆうバスが不便、東西方向のバスが不十分、バス停まで距離がある
- ・水害や交通安全の対策(交通事故の多い県道がある)
- ・全てが揃うモール店がない、買い物が不便
- ・ボランティアが少ない など

実施して ほしい 取組

●魅力向上のための取組

- ・聖天様界隈の環境整備(滞在時間を延ばす)
- ・観光資源のPR(道の駅にグライダーオブジェ、パネル展示、歴史の紹介)
- ・地域を知る教育
- ・河川敷、ゴルフ場跡地の活用(キャンプ場、アスレチック、遊歩道)
- ・公園、遊具の安全、充実 など

●課題解決のための取組

- ・若い世代が注目するスポットづくり
- ・空き家や公共施設等の有効活用(お休み処)
- ・公共交通の充実(デマンドタクシー、バスターミナルの設置、バス停に駐車場、駐輪場設置)
- ・水害に対応するインフラ整備
- ・ボランティア参加者にポイント制度
- ・モール店とバス路線を組み合わせ、バリアフリー化を進める など

地域の 将来像

●実現したい将来の生活(キャッチフレーズ)

- ・歴史と伝統を体感・共感できる暮らしやすいまち
- ・国宝聖天さま 癒しのある 丁度いい田舎まち(聖天寿しを越える名物、情緒、風情)
- ・学校を中心とした地域コミュニティ(小学校と公民館の統合、小中一貫教育、地域一帯教育)
- ・人と自然が出会う街、立ち寄りやすい街、都市型農村(農業との共存、食育)

ワークショップの様子



Aグループ



Bグループ



Cグループ



Dグループ